

《担当者名》○飯泉智子 i-zumi@hoku-iryo-u.ac.jp、永見慎輔

**【概要】**

摂食嚥下障害の病態、検査、診断、治療に関する研究法について、先端的論文を購読することにより学ぶ。

**【学修目標】**

一般目標：摂食嚥下障害の病態、検査、診断、治療に関する研究方法について説明できる。

行動目標：

1. 摂食嚥下障害の病態、検査、治療に関する最新の研究について文献を参照し、解釈できる。
2. 摂食嚥下リハビリテーションに関する論文と、実際の臨床上の課題を結びつけることができる。
3. 摂食嚥下リハビリテーションに関する論文を基にディスカッションをおこない、レポートにまとめ、プレゼンテーションをおこなえる。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、スケジュール、購読すべき文献を提示し、今後の進め方を説明する。	飯泉智子 永見慎輔
2~13	摂食嚥下障害のリハビリテーション	摂食嚥下障害の病態、検査法、治療に関する論文を提示し、教員とともに購読し、研究法を学ぶ。	飯泉智子 永見慎輔
14・15	まとめ	購読した論文に関するレポートを提出、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。	飯泉智子 永見慎輔

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

レポート（80%）

講義中のディスカッション（20%）

**【教科書】**

指定しない。学術雑誌、論文を指定する。

**【学修の準備】**

1. 関連する文献、参考書を読み予習しておくこと（80分）。
2. 配布プリント、参考書で復習し理解を深めること（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できるというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。